DAILY SPORTS デイリー

金沢工大が〝金星〟近大撃破

男子 第55回
女子 第54回
西日本学生バスケット
本社主催

第1日（22日、大阪府立体育会館ほか）

大阪府立体育会館と大阪市中央体育館の2会場で、男子の1、2回戦計31試合が行われ、男子2回戦では金沢工大が82―78で近大を撃破し、3回戦に進出した。関西選手権3位の近大に対し、走力を生かした組織バスケットで北信越地区最強校の実力を見せた。1回戦では、学校創立3年目のびわこ成蹊スポーツ大が初戦を突破した。23日は男子2回戦22試合、女子1回戦16試合、同2回戦4試合が行われる。

自慢の走力で第3Qに逆転

北信越No.1の意地だ

北信越No.1の意地を見せた。前半を終え、近大に9点のリードを許しても、青木監督に焦りはなかった。「走力では絶対に負けないと思っていた。終盤にチャンスが必ずくる」。最後まで足が止まることはなく、個々の能力では上回る近大を猛追。第3クオーターで逆転した。

昨年のインカレで法大と対戦。55―77で敗れたが、6位の法大と十分に渡り合った。参加するだけのお祭りイベントと思っていたインカレで、負けて悔しいと初めて思った。北信越最強校としてのプライドが芽生えた。

「相手は関西3位。僕らが通用することを示したかった」。6本の3Pを決めたG奥矢はきっぱり言う。序盤から攻守に奮闘したF川崎は「テクニックがない分、体を張るプレーに徹した。周りの選手を引き出すことができて満足。最高のゲームです」と胸を張った。

「田舎のチームはこういうゲームした後、悪いことが多いから気をつけないと」。青木監督もこの勝利だけで浮かれる様子はない。戦いはまだ始まったばかりだ。（奥村哲明）

金沢工大が近畿大を破る金星を挙げ、勝利の瞬間全員でガッツポーズ＝大阪府立体育会館

〝台風の目〟だ!!

△男子・びわこ成蹊スポーツ大▽昨年に続いて1回戦を難なくクリア。創部3年目。入学時から、主将として練習メニューから選手起用までを担うPG清水は「上位校と戦いたいので、1回戦は当たり前のように勝ちたかった」と納得の表情。関西リーグ4部からスタートし、現在は2部まで上昇した。白紙からの出発も、本での研究や強豪校に練習法を尋ねるなど試行錯誤を繰り返し、チームの形を整えてきた。今大会、台風の目として上位進出をもくろむ。

【男子】

▽1回戦

福岡教大 87―72 大阪国際大
愛媛大 80―75 広島経大
新潟経営大 84―63 鳥取大
びわこ成蹊スポーツ大 97―66 高知大
中部学院大 124―77 広島国際学院大

▽2回戦

福岡大 83―65 摂南大
流通科学大 99―77 大阪市大
京都教大 74―73 名桜大
名古屋学院大 93―69 和歌山大
熊本学園大 104―71 阪大
島根大 83―66 帝塚山大
神戸大 84―59 佛教大
大院大 158―31 滋賀大経済学部
神戸学院大 96―86 花園大
大工大 89―66 奈良教大
関西外大 71―65 九州大
信州大 88―81 京大
同大 114―53 京都学園大
関学大 121―74 岡山大
大経大 97―84 西南学院大
徳山大 89―64 大阪教大
桃山学院大 68―67 岡山理科大
大体大 106―67 大阪府大
愛知工大 111―38 大谷大
立命大 107―53 奈良大
近畿福祉大 92―60 愛知淑徳大
愛知学院大 90―76 兵庫県立大姫路キャンパス
大阪経法大 97―77 松山大
愛知大 98―57 四天王寺国際仏教大
関大 154―43 鳴門教大